

第26回日教組 全国人権教育実践交流集会 徳島大会

日時 2016年11月12日(土)13:30～13日(日)12:00

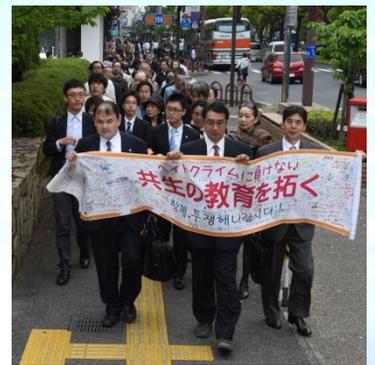
場所 徳島グランヴィリオホテル ほか

一日目(12日) 日程 13:30～20:30

13:30～開会行事

14:00～全体会

- はじめに「徳島県教組襲撃事件とは」
徳島県教組委員長
- 現地報告「徳島県教組襲撃事件裁判を闘って」
徳島県教組元書記長
- 講演「ヘイトスピーチから京都と徳島を結んで」
静岡大学准教授
- 歌と踊りと学校紹介
四国朝鮮初中級学校の子どもたちと学校長



15:30～分科会

- 第1分科会「憲法・子どもの権利条約と人権教育」
 - ・共感的に理解する力を育み、あたたかな学級をめざして(尾知寿信 高知)
 - ・Aとともに歩み続ける(新井久美子 新潟)
- 第2分科会「部落問題学習のとりくみ」
 - ・差別・被差別を超える人権教育～板野中学校の同和教育が培ってきたもの～(森口健司 徳島)
 - ・「わたしたちの『仲間』宣言」(山口邦子 宮崎)
- 第3分科会「両性の自立と平等をめざす教育」
 - ・LGBTの子どもを支える工夫を考えよう(ワークショップ)(プラウド 香川)
 - ・「性」を自分のこととして考える(奥美智子 滋賀)
- 第4分科会「インクルーシブ教育」
 - ・特別支援学級での取り組み(加地理司 愛媛)
 - ・子どもの声、保護者の声に耳を傾けることで...(小川富史江 北海道)

18:40～交流会

- ・阿波人形浄瑠璃研究会青年座の人形浄瑠璃(寿二人三番叟)もあります。

参加希望者は今すぐ書記局まで連絡を!!
お待ちしております!!

主催 日本教職員組合 参加申し込みは、日教組愛媛 (TEL089-924-4546) まで

二日目(13日)フィールドワーク 日程8:30~12:00

A 阿波木偶箱廻し・被差別民の暮らしと文化

辻本 一英 NPO法人ヒューマンネットとくしま理事長、芝原生活文化研究所代表、阿波木偶箱まわし保存会顧問

1998年に芝原生活文化研究所を設立し、徳島県内の被差別部落における生産と労働を中心とした生活文化の調査研究にとりくむ。また、阿波木偶箱まわし保存会を組織し、「三番叟まわし」「箱廻し」「えびすまわし」「大黒まわし」等の無形民俗文化財の伝承を手掛ける。

芝原地区における取組についての説明と、生活民具展示を見学しながら被差別民の暮らしや文化について学びます。また「三番叟まわし」の実演と歴史についての講義を受けます。



B 藍の歴史・文化と藍染体験

瀬部 昌秀 四国大学生生活科学部生活科学科准教授

「藍染め和楽工房」は、藍染めに関するボランティア活動を行う個人の工房です。工房では藍の栽培を行い、葉藍を収穫し乾燥させた葉藍から藍の染料である「すくも」を生産し、それを原材料として天然灰汁建て発酵による藍瓶で藍染めを行っています。

藍の歴史と文化について、江戸時代から明治時代へ続く歴史から、民衆の生活や意識について、また藍染め体験をすることにより徳島における藍の文化を深く理解していただきます。

※藍染料が衣類等に着く恐れがあります。汚れてもよいエプロンを持参するなど、各自で留意されるようお願いいたします。



C 鳴門市「市場地区フィールドワーク」と「人権を語り合う中学生交流集会」

「地域に誇りを持つ」ことの大切さを子どもたちに伝えるために始められたフィールドワーク。差別をはね返し、みんなで力を合わせて架けた大正橋。隣り合わせで建つ同じ宗派のお寺の謎。みんなで一つになり、同盟休校で勝ち取った役場職員。被差別部落の中にもまだまだある女性差別を子どもたち自身の手で塗り替えた歴史などについてお話を聞いていただきます。

「人権を語り合う中学生交流集会」は、中学生が中学校の枠を越えて人権をテーマについて集い、交流し、学び合うことを通して、自己表現力やリーダーとしての能力を高め、各校においても人権活動のリーダーとなることを目的として開かれ、今年で21年を迎えました。当日はその概要についてお話を聞いていただくとともに、実際に本集会を経験してきた若者に登壇していただき、お話をしてもらいます。

